

スカイツリー、ダイバーシティオープンで景況感アップ

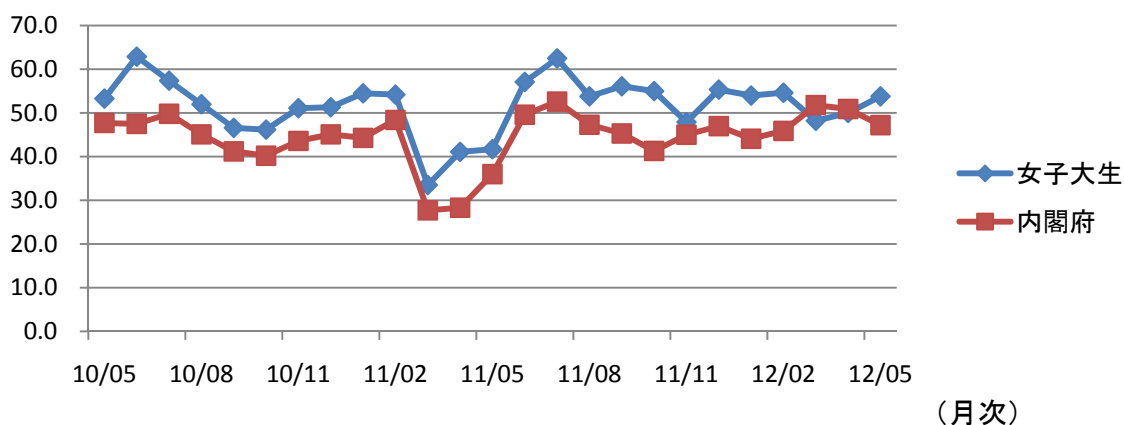
5月の女子大生景気ウォッチャー調査は、景気の現状判断D I（方向）が53.8となり、3月から2カ月連続で上昇傾向を見せた。先行きD Iも前月比で1.0ポイントも上昇した。

今回の上昇傾向は、スカイツリー、ダイバーシティなどの大型な施設の開業が大きく影響していると考えられる。また、消費税増税が実現することになれば駆け込み需要が発生するのでは、という予測も関係しているようだ。「EUの動き次第で経済状況が変わると思う」や「フランスの大統領が変わったから」といった海外に目を向けた意見もあった。

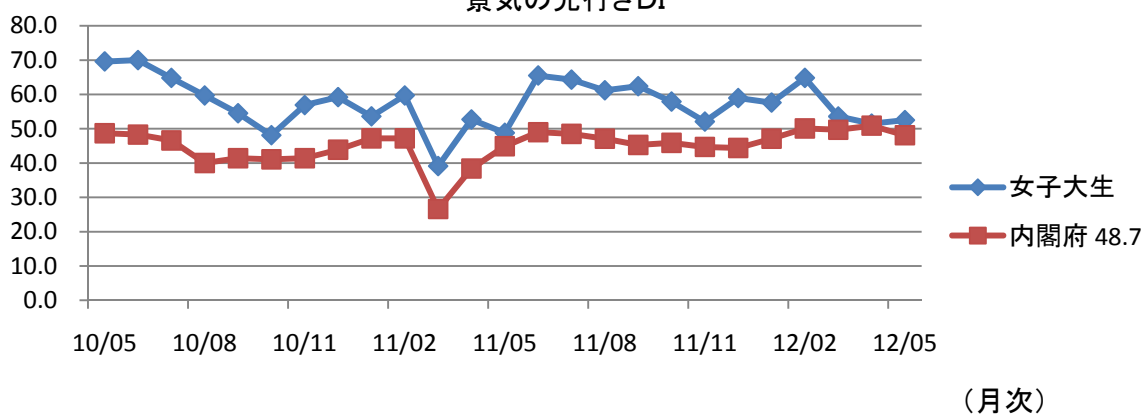
（跡見学園女子大学マネジメント学部 山澤ゼミ 熊澤、丸山）

調査日＝5月22日、調査人数＝大学3、4年生20人。

景気の現状DI



景気の先行きDI



景気判断DIは、①良い1点②やや良い0.75点③どちらともいえない0.5点④やや悪い0.25点⑤悪い0点として、それぞれの構成比を乗じて計算する。全員が良いと答えた場合は100、全員が悪いと答えた場合は0となる。